

平成22年度の事業報告書  
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

NPO法人 自然再生センター

1 事業の成果

以下の事業を実施した。

中海自然再生協議会の事務局として11回の協議会を開催した。さらに環境省環境技術等開発推進費に採択され、中海の浚渫窪地埋め戻しに向けた取り組みを行った。飯梨川流域部会において、河川敷の自然再生に取り組んだ。鳥取支部において、彦名・安倍地区を対象とした環境再生計画の企画とそのための調査に取り組んだ。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象の範囲 (E) 人員	収支予算書の事業費の金額 (円)
自然再生協議会の支援事業	第二期中海自然再生協議会設立の準備、事務を行い、協議会を開催した	(A) 年6回 (B) 松江市・米子市 (C) 10名	(D) 中海周辺 (E) 不特定多数	900,000
米子湾・中海自然再生に関わる事業	彦名・安倍地区を対象とした環境再生計画の企画とそのための調査(承水路一斉調査)	(A) 随時 (B) 米子市・境港市 ◎60名	(D) 中海周辺 (E) 不特定多数	500,000
	松江市天神川のヨシの中海大井湖岸への植栽	本事業年度は実施せず		—
中海浚渫窪地環境修復事業	中海の浚渫窪地の環境修復のため埋め戻し方法や環境改善技術について調査研究	(A) 随時 (B) 中海 (C) 8名	(D) 中海周辺 (E) 不特定多数	24,000,000
宍道湖の自然再生に関わる事業	来待石を活用した湖岸再生など	(A) 随時 (B) 宍道湖湖岸 (C) 5名	(D) 中海周辺 (E) 不特定多数	100,000
飯梨川流域の自然再生に関わる事業	親水広場事業	(A) 5月～10月 (B) 安来市 (C) 553名	(D) 安来市、松江市、東出雲市 (E) 不特定多数	100,000
自然再生に関わるコンサルタント業	島根大学などの教員のノウハウを活用したコンサルタント	本事業年度は実施せず		—
自然再生に関わる研修事業	中海・宍道湖を活用フィールド研修事業	本事業年度は実施せず		—

自然再生に関わるインターンシップ事業	島根大学のインターンシップの受け入れ	(A) 5月～3月 (B)自然再生センター (C)2名	(D) 自然再生センター周辺 (E)1名	—
自然再生・水質浄化に関わる技術評価・認定作業	技術評価・技術認定への依頼を受けて実施する	本事業年度は実施せず		—
屋上緑化に関わる事業	湿地型屋上緑化等の普及	(A) 随時 (B)自然再生センター (C)2名	(D) 屋上緑化を志す企業・住民 (E)不特定多数	50,000
水質浄化関連事業	ゼオライト水耕法による農業集落排水の高度処理施設、大芦バイオガーデンの管理	(A) 4月～3月 (B)松江市島根町大芦 (C)15名	(D) 農集利用者など (E)不特定多数	—
自然再生に関わる情報交流事業	西日本自然再生協議会の集いに参加	(A) 12月 (B)未定 (C)2名	(D) 自然再生協議会関係者 (E)30名	—
流域圏での資源循環に関わる事業	おいしい・楽しい・ためになるを合い言葉に中海の食を広める。食から中海に関心を持ってもらう会	(A)9月～3月 (B) 島根県・鳥取県 (C)15名	(D) 中海周辺 (E) 延べ200名	300,000
	飯梨川河川敷牧草栽培	(A)5月～11月 (B)飯梨川河川敷 ◎50名	(D)安来市、松江市、東出雲市、 (E)不特定多数	3,000,000
各種イベント事業	勉強会、環境学習会、見学会などの実施	(A) 5月～3月 (B) 中海周辺 (C)5名	(D) 宍道湖・中海周辺住民 (E)延べ500人	100,000
広報・出版・インターネット活用事業	自然再生センターニュースの発行、ホームページ、パンフレット作成	(A) 随時 (B) 自然再生センター (C)2名	(D) 不特定多数 (E)不特定多数	19,000

(2) その他の事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C)従事者の人数	(D) 受益対象の範囲 (E) 人員	収支予算書の事業費の金額 (円)
特産物即売場の開設	中海及びその流域の特産物を販売	本事業年度は実施せず		0